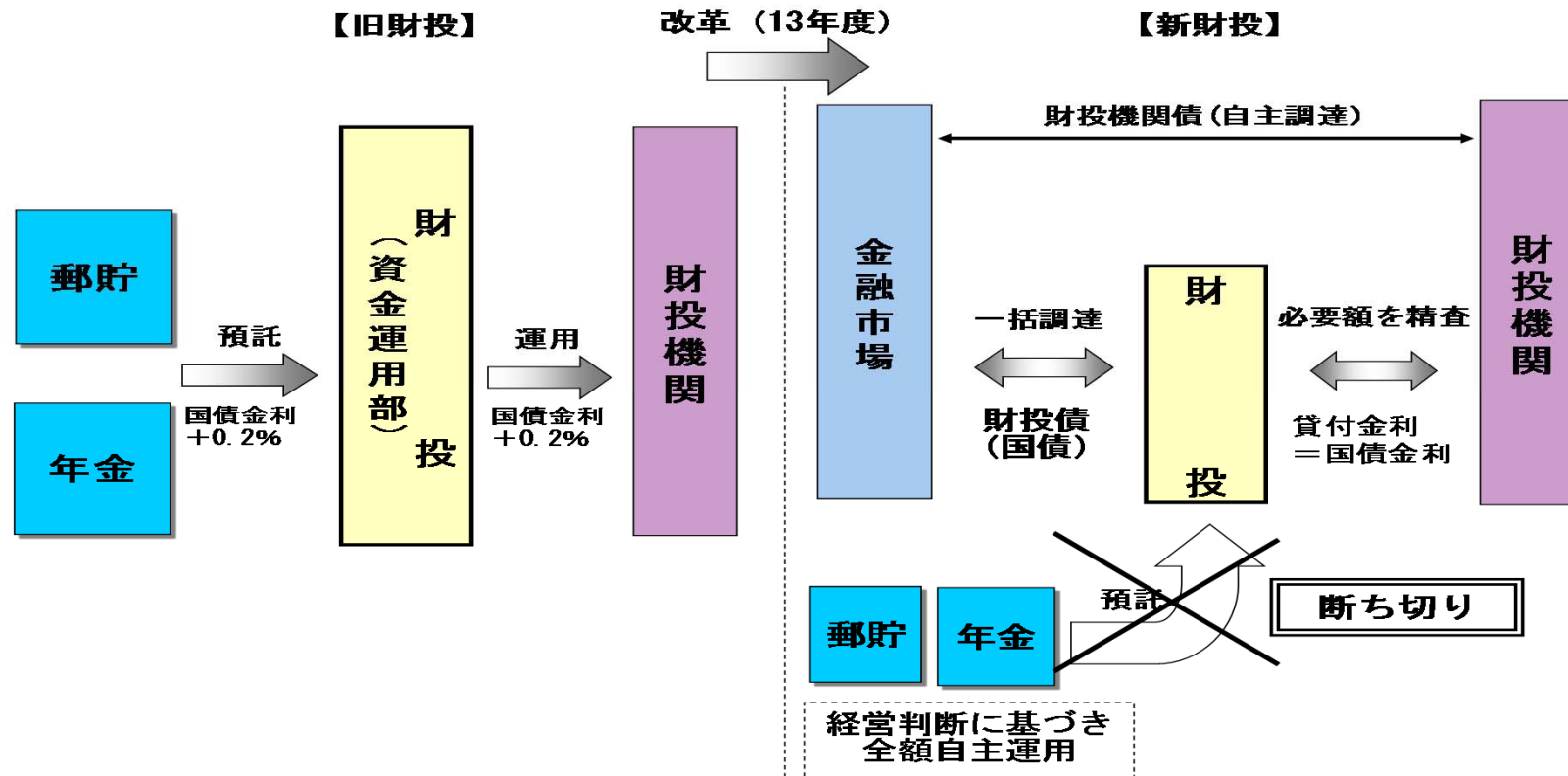


財投改革のポイント



<改革のポイント>

- 全額預託義務の廃止、市場原理にのっとった資金調達
- 政策コスト分析の導入、情報開示の一層の徹底

- ・ 郵便貯金・年金積立金の預託義務の廃止、市場における自主運用
- ・ 償還確実性の精査、民業補完を踏まえ、真に必要とされる額のみを財投債により調達
- ・ 貸付期間に応じ、国債の市場金利を基準にして貸付金利を設定
- ・ 各財投機関は、財投機関債を発行
- ・ 政策コスト分析の導入・充実
- ・ 情報開示の一層の徹底等による特殊法人等の規律確保